

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月30日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 井川 明 (TEL) 03-3462-8138  
 経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,363	1.7	307	167.9	473	71.7	339	△1.3
2020年3月期第1四半期	2,323	△5.6	114	9.9	275	7.3	343	78.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	24.68	—
2020年3月期第1四半期	25.02	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,022	39,630	88.0
2020年3月期	44,879	39,201	87.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 39,630 百万円 2020年3月期 39,201 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,910	△6.0	80	△83.6	270	△59.6	170	△72.2	12.36
通期	10,980	4.8	520	△13.2	870	△7.2	680	△13.7	49.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	16,500,000株	2020年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,740,524株	2020年3月期	2,750,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	13,750,643株	2020年3月期1Q	13,735,538株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は極めて厳しい状況が続いており、相次ぐ自然災害の影響、海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(2018年4月～2021年3月)において、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高は国内養命酒が堅調に推移したことにより2,363百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益は活動自粛に伴う販売費及び一般管理費の減少や先送り等により307百万円(前年同四半期比167.9%増)、経常利益は473百万円(前年同四半期比71.7%増)、四半期純利益は前年同四半期に計上した固定資産売却益がなくなったことにより339百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

#### ① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は2,266百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

##### <養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に向けて、「体を守る力」をテーマにした新聞広告を実施し、6月からは新しい広告キャラクターとして草刈正雄さんを起用したテレビ広告を実施しました。また、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働し、プロモーションと連動した売り場づくりや購入促進施策等を展開し、売上高は、1,883百万円(前年同四半期比11.4%増)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大及び香港における政情不安の影響を受け、売上高は、14百万円(前年同四半期比54.9%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は1,897百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

##### <その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、巣ごもり需要があった一方、コンビニエンスストアや飲食店での売上が減少したことから、「酒類」の売上高は、146百万円(前年同四半期比16.4%減)となりました。

「食品」につきましては、「養命酒製造のど飴」の取扱店舗数の拡大に注力した一方、コンビニエンスストアやドラッグストアでの「グミ×サプリ」の売上が減少しました。「食品」の売上高は、142百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。

「リテール」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「くらすわ」及び「養命酒健康の森」等の一部施設の営業休止を行ったことにより、売上高は、79百万円(前年同四半期比48.0%減)となりました。なお、4月に開業を予定していた「くらすわ 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」につきましては、6月8日にオープンいたしました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は368百万円(前年同四半期比26.8%減)となりました。

#### ② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は97百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ142百万円増加し、45,022百万円となりました。これは主に有価証券が債券の償還により1,000百万円、長期預金が800百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が512百万円、投資有価証券が債券の取得、保有株式の時価評価の増加等により1,387百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ286百万円減少し、5,391百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が258百万円増加した一方で、賞与引当金が104百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が広告宣伝費の支払等により334百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ429百万円増加し、39,630百万円となりました。これは主に四半期純利益339百万円の計上及び配当金552百万円の支払いにより利益剰余金が213百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が618百万円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、2020年5月12日に公表いたしました業績予想に対して利益面で高い進捗率となりましたが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響等先行き不透明な状況が続くことが想定されることから、業績予想は据え置きとしております。業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,594,061	7,106,568
売掛金	2,751,643	2,501,823
有価証券	1,000,017	-
商品及び製品	420,656	565,861
仕掛品	130,542	146,847
原材料及び貯蔵品	953,341	939,627
その他	118,405	201,697
流動資産合計	11,968,667	11,462,427
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,971,442	4,070,464
その他(純額)	4,056,121	4,058,440
有形固定資産合計	8,027,563	8,128,905
無形固定資産		
	190,961	169,936
投資その他の資産		
投資有価証券	16,352,310	17,739,982
長期預金	5,500,000	4,700,000
その他	2,848,432	2,829,466
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	24,692,403	25,261,109
固定資産合計	32,910,927	33,559,952
資産合計	44,879,595	45,022,379
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	277,866	301,403
未払法人税等	203,298	113,777
賞与引当金	200,331	95,868
その他	1,413,909	984,265
流動負債合計	2,095,404	1,495,314
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,533,933	3,847,783
固定負債合計	3,582,283	3,896,133
負債合計	5,677,688	5,391,447

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	720,938	720,938
利益剰余金	37,852,007	37,638,986
自己株式	△4,959,124	△4,935,758
株主資本合計	35,263,821	35,074,167
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,938,084	4,556,764
評価・換算差額等合計	3,938,084	4,556,764
純資産合計	39,201,906	39,630,931
負債純資産合計	44,879,595	45,022,379

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,323,842	2,363,978
売上原価	839,052	873,041
売上総利益	1,484,789	1,490,937
販売費及び一般管理費	1,370,092	1,183,689
営業利益	114,697	307,247
営業外収益		
受取利息	9,464	11,204
受取配当金	151,659	153,910
その他	4,560	5,907
営業外収益合計	165,685	171,023
営業外費用		
支払利息	4,360	4,250
その他	42	264
営業外費用合計	4,403	4,514
経常利益	275,979	473,755
特別利益		
固定資産売却益	207,437	—
特別利益合計	207,437	—
特別損失		
固定資産除却損	1,870	5,923
特別損失合計	1,870	5,923
税引前四半期純利益	481,546	467,832
法人税、住民税及び事業税	137,000	127,000
法人税等調整額	895	1,498
法人税等合計	137,895	128,498
四半期純利益	343,650	339,333

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の国内外の感染拡大に伴い、直営の商業施設では臨時休業や営業時間の短縮、輸出では海外消費の落ち込み等、業績に影響する状況が生じています。当社では、2021年3月期の半ばまで当該影響が続くものとの仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りに用いた仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が今後長期化した場合や深刻化した場合には、今後の業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。なお、前事業年度有価証券報告書で記載した内容から重要な変更はありません。